

民生常任委員会

委員長 今元直寛

「福祉課」

問 子育て世帯応援券の未使用券が183枚とあるが、本人が辞退したのか。

答 子供一人当たり4千円を交付した。広報紙や防災行政無線等で周知を図ったが、使用されなかった(対象者1,271人)。

問 子育て支援として、保育料を全額免除した場合の町の負担額は。

答 27年度の負担額は約5,500万である。

「健康増進課」

問 国保基盤安定負担金の国、県、町の負担割合の変更、又は県費等で新たに補助制度が出来たか。

答 変更も新たな制度もない。

「介護保健課」

問 マイナンバー制度導入に関する国の補助はどのくらいあるのか、また、予想される、町の負担はどのくらいか。

答 国庫補助額は基準額の50%(250万円)である。町の持ち出しは1,000万円を超えるのではないかと思われる。

問 介護保険で要支援1・2が、保険の適用から除外された場合、その対応はどのように考えているのか。

答 町としては、これまで利用できていたサービスに変わる受け皿の構築を考えている最中であり、平成29年4月からの移行に向け、山口大学と連携して、CCRCと言った新しい事業も取り入れ、本町にふさわしい地域包括ケアのメニューを造っていく作業中である。

「公営企業局」

問 昨年の10月から、大島病院の看護基準が13対1から10対1になったが、どの位の収入増になったのか。

答 単月で約200万円、年間では約2,400万円の増収となった。

問 平成27年度の透析者数と稼働状況は。

答 東和病院は入院患者なし、

外来患者1,729人、1日平均10.9人。大島病院は入院患者638人、外来患者は1,999人で1日平均16.8人の利用である。

問 大島病院の療養病床へ島外からの入院患者はあるのか。また、人口減少の対応として、島外からも入院してもらえような対策はあるのか。

答 少数ではあるが地域連携室を通じて入院されている。外来患者確保の為に患者送迎バスを大島、日積方面にまで走らせたと思うが、柳井医師会や行政との間に問題があり、現段階で

は困難である。



民生常任委員会

諸般の報告

民生常任委員会

●陳情の要旨

1. 安下庄小学校の休業日における学童保育の保障
2. 安下庄小学校の長期休業中の「ひまわり児童クラブ」終了時刻以降の学童保育の保障

●審査報告

事前に解決すべき諸問題があり、直ちに陳情の趣旨に添うことは困難である。しかし、この「学童保育」や「子育て支援」は明日を担う「周防大島っ子」のためには重要な施策である。また、定任促進にも関わることから、執行部におかれては、継続的なご尽力をお願いする。

さらに、今後も保護者へ対するニーズ等の調査を実施し、これを分析するとともに、問題点や課題の改善へ向け、研究と検討をするようお願いする。